



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 ホーチキ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6745 URL <http://www.hochiki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役取締役社長 (氏名) 山形 明夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長兼経理部長 (氏名) 天野 潔

TEL 03-3444-4111

四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	51,112	4.3	1,720	35.2	1,724	36.8	1,150	40.7
29年3月期第3四半期	49,021		2,653		2,730		1,939	

(注)包括利益 30年3月期第3四半期 1,955百万円 (33.4%) 29年3月期第3四半期 1,465百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	45.96	
29年3月期第3四半期	77.47	

(注)30年3月期第1四半期連結会計期間より「在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更」を行ったため、29年3月期第3四半期について、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。これに伴い、29年3月期第3四半期の対前期増減率は記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	53,481	27,206	50.7	1,082.71
29年3月期	55,431	25,814	46.4	1,026.83

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 27,105百万円 29年3月期 25,706百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				22.00	22.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				22.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,000	5.3	5,700	5.2	5,600	3.2	4,100	1.2	163.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 有  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	29,172,000 株	29年3月期	29,172,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	4,137,485 株	29年3月期	4,137,337 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	25,034,603 株	29年3月期3Q	25,034,676 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ<sup>1</sup>「当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による成長戦略に基づく経済政策を背景に、企業収益の向上や雇用情勢が改善するなど、総じて緩やかな回復基調にあります。しかしながら、米国トランプ政権の経済政策、英国のEU離脱問題などの海外の不安定な政治動向や、地政学的リスクの影響などにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。

防災・情報通信業界におきましては、企業収益が改善するなか民間設備投資が緩やかに増加しておりますが、原材料価格や労務費の上昇による工事コストの高騰など収益に影響を及ぼす要因もあり、楽観視できない状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、全社を挙げて営業活動を推進してまいりました結果、受注高は62,181百万円(前年同期比10.0%増)、売上高は51,112百万円(前年同期比4.3%増)といずれも前年同期を上回りました。利益につきましては、経営計画に基づく人材及び研究開発に対する先行投資の実施などにより、販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は1,720百万円(前年同期比35.2%減)、経常利益は1,724百万円(前年同期比36.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,150百万円(前年同期比40.7%減)となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業形態として、第4四半期連結会計期間に完成する工事の割合が大きいため、第4四半期連結会計期間の売上高と他の四半期連結会計期間の売上高との間に著しい相違があり、業績に季節的変動があります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末の残高と比べ1,950百万円減少し、53,481百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものであります。

負債の残高につきましては、前連結会計年度末の残高と比べ3,342百万円減少し、26,274百万円となりました。これは主に、未払法人税等やその他に含まれる未払金が減少したことなどによるものであります。

また、純資産の残高につきましては、前連結会計年度末の残高と比べ1,392百万円増加し、27,206百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の業績予想につきましては、現時点において平成29年4月27日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

今後、業績予想数値に修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,856	7,277
受取手形及び売掛金	22,946	17,411
製品	3,851	3,927
仕掛品	494	715
原材料	2,821	3,229
未成工事支出金	2,439	3,683
その他	1,728	1,409
貸倒引当金	△73	△73
流動資産合計	40,065	37,581
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,868	3,876
その他(純額)	4,964	4,951
有形固定資産合計	8,833	8,828
無形固定資産		
のれん	412	317
その他	721	737
無形固定資産合計	1,134	1,055
投資その他の資産		
その他	5,497	6,118
貸倒引当金	△99	△101
投資その他の資産合計	5,398	6,016
固定資産合計	15,365	15,900
資産合計	55,431	53,481
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,188	3,873
電子記録債務	5,956	6,211
短期借入金	1,517	1,342
未払法人税等	1,304	236
工事損失引当金	260	309
製品補償引当金	70	47
リコール関連引当金	347	210
その他	9,202	7,539
流動負債合計	22,848	19,770
固定負債		
長期借入金	469	225
役員退職慰労引当金	8	3
退職給付に係る負債	5,365	5,380
その他	924	894
固定負債合計	6,768	6,504
負債合計	29,617	26,274

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,798	3,798
資本剰余金	2,728	2,728
利益剰余金	24,138	24,738
自己株式	△4,445	△4,445
株主資本合計	26,219	26,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	918	1,375
土地再評価差額金	△641	△641
為替換算調整勘定	△692	△464
退職給付に係る調整累計額	△97	16
その他の包括利益累計額合計	△513	286
非支配株主持分	107	101
純資産合計	25,814	27,206
負債純資産合計	55,431	53,481

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	49,021	51,112
売上原価	32,493	34,875
売上総利益	16,527	16,237
販売費及び一般管理費	13,873	14,516
営業利益	2,653	1,720
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	50	54
その他	86	31
営業外収益合計	139	88
営業外費用		
支払利息	13	22
売上割引	17	20
その他	31	42
営業外費用合計	63	85
経常利益	2,730	1,724
特別利益		
有形固定資産売却益	-	10
投資有価証券売却益	124	64
特別利益合計	124	75
特別損失		
有形固定資産売却損	0	-
有形固定資産除却損	6	6
投資有価証券評価損	-	33
災害による損失	4	-
特別損失合計	11	40
税金等調整前四半期純利益	2,843	1,759
法人税、住民税及び事業税	396	273
法人税等調整額	500	329
法人税等合計	897	602
四半期純利益	1,946	1,156
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,939	1,150

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,946	1,156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	456
為替換算調整勘定	△570	228
退職給付に係る調整額	113	114
その他の包括利益合計	△480	799
四半期包括利益	1,465	1,955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,458	1,949
非支配株主に係る四半期包括利益	6	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更

在外子会社の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場による方法に変更しております。この変更は、当社グループにおける在外子会社の損益の重要性が増加し、今後も継続する見込みであるため、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表へ反映させるために行ったものであります。

当該会計方針の変更を遡及適用し、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用前と比べ、前第3四半期連結累計期間の売上高は63百万円、営業利益は38百万円それぞれ減少した一方で、経常利益は2百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は3百万円それぞれ増加しております。

また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は170百万円増加し、為替換算調整勘定の前期首残高は同額減少しております。